



陵江会活性化に向けて
陵江会会長 上川 明

発行者
福岡県直方市頓野3459-2
福岡県立直方高等学校
同窓会

卒業生総数 29,725名
在校生総数 543名
現学級数 15学級



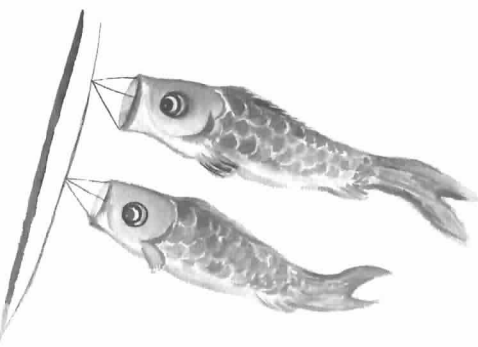
陵江会会員ならびに
関係の皆様にはますます
ご健勝のことと拝察
いたします。日頃より、
同窓会活動にご理解
ご協力いただき、心よ
り感謝申し上げます。
さて、昨年より49回
生、28回生を中心に準
備を進めてまいりまし
た。新型コロナウイルス感
染症の感染状況が悪化
している中（令和2年
3月現在）、実施の可否
について役員会等にお
いて協議・検討を重ね
てまいりました。
陵江会といたしまし
ては、会員・関係者の
安全を第一に考え、思
い出深い陵江会総会に
なるように、5月10日
に実施する方向で準備
を進めてまいりました
が、さらなる感染拡大
の恐れや、2月26日に
政府の新型コロナウイルス
感染対策本部より表明
された、今後2

週間のイベント中止や
延期などの要請、3月
11日のWHOのパンデ
ミックとみなせるとの
表明、3月14日の首相
会見等を考慮し、5月
の実施は困難であると
判断するに至りました。
つきましては、誠に
残念ではありますが、
総会を中止することと
なりました。なお、中
止に伴い、多くの方々
にご迷惑をおかけいた
しました。改めまして、
深くお詫び申し上げます。
会員・関係の皆様
の安全を考慮した上で
の決定でしたので、何
卒ご理解いただきたい
と思っております。
さて、私は、会長就
任時より常に訴えて
いることがあります。が、
それは、陵江会の活性
化ということですが、昨
年度も書きましたが、
私が、直方高校同窓会、
陵江会を強く意識する
ようになったのは、42
歳の総会当番幹事を経
験してからでした。打
合せ段階で、何回も意
見を真剣に戦わせなが
ら、総会当日を迎えた
ときは、やり遂げたとい
う大きな達成感をみ

んまで分かち合うこと
ができました。みんな
で、総会を成功させた
という大きな達成感を
感じるには、それぞれ
の立場で陵江会に関
わっていただければ、理
解できないことだと思
います。一人でも多く
の陵江会会員の皆様
に、掛け替えのないそ
の経験を理解し、同窓
会活動に協力してもら
えないかと思っていま
す。人の思いは、千差
万別ですが、3年間で
共に過ごした仲間たち
との関係が、陵江会と
陵江会総会に向けての
当番幹事の活動を通し
て、一緒に汗を流し、
苦勞し、楽しんでいけ
ば、人と人とのつなが
りや絆の強さを再認識
できるのではないかと
思います。陵江会活動
に対して、「あまり興味
や関心がない」という
方々もおられると思
いますが、同窓会の目
的の基本は、①「会員
間の互助親睦」、②「母
校の発展を支援する」
というものです。決し
て堅苦しいことではな
く、気の合った仲間と
連絡を取り合い、機会

を見つけて親睦を深め
ていくことの延長線上
に、実は、同窓会活動
があるのだと思います。
理屈抜きで、母校につ
いて語り合う場だと思
います。陵江会とは、
こういった親睦の輪を
更に広げ、回生を超え
た「縦と横」の繋がりを
作る事が出来る唯一
の組織だと考えていま
す。

我が陵江会は、昨年
度、卒業生の高校72
回生、195名の加入
をいただき、高等女学
校からの卒業生総数は、
29,725名を有する
会へと成長しました。
陵江会の仲間の絆を
さらに深めるという面
では、関東支部、関西
支部に加えて、福岡支
部の復活が実現し、活
性化に向けて大きく動
きだそうとしておりま
す。そして、母校直方
高校は、昨年10月11日
直方高校体育館におい
て福岡県立直方高等学
校創立110周年記念
式典が開催されました。
これもひとえに直方高
校を支援していただき
ている多くの方々の心
温まるお力添えの賜物
と、重ねてお礼申し上



げます。今回の創立記
念行事は実行委員会発
足当初から、生徒主体
のものとするというコ
ンセプトで始まり、式
典においても、生徒が
主体的に参加し、母校
の歴史に思いをはせ直
方高等学校の生徒とし
ての自覚を一層高めて
くれたと思います。私
も式典において同窓会
を代表して、母校や在
校生の応援役となるこ
とを約束しました。
創立110周年とい
うと途方もなく長い
期間の110年、また、
あつという間の110
年ですが、伝統ある直
方高校の校風が、今も
脈々と引き継がれてい
ます。110年前の開
学の精神は、社会は変
化しても校舎が変わっ
ても、ぶれることなく
凛として輝いています。
私は、記念式典に出席
し、このことを強く確
信いたしました。
最後になりましたが、
母校直方高校を支える
陵江会の皆様、ご来場
くださいました皆様
ご協賛いただきました
皆様の益々の御健勝と
御多幸を心よりお祈り
申し上げます。



歴史と伝統
新たななる一歩
校長 田中 浩子

陵江会の皆様には、
日頃から本校の教育活
動充実のために物心両
面からのご支援とご協
力を賜り、心より感謝
申し上げます。また、
昨年度は学校創立
110周年に係る10月
11日（金）の記念式典
および記念講演会をは
じめ、記念事業に関し
て多大なるご高配を賜
り誠にありがとうございました。
令和2年度の人事異
動で、第35回生でもあ
り3年間に渡り教頭・
副校長として本校のた
めに尽力していただい
た旭副校長が福岡魁誠
高校の副校長として転
出しました。後任には
稲築志耕館高校から北
村副校長が転入しまし
た。私と末吉教頭は、
母校で校長および教頭
をそれぞれ継続して務
めさせていただくこと
となりました。本年度
も、学校創立111年
目となる直方高校のさ
らなる発展に向けて、
生徒と教職員が一丸と
なり教育活動に励んで
まいりますので、どう
ぞよろしくお願ひ申し
上げます。
さて、母校の現状を
紹介いたします。4月
に第75回生となる新1

- 【陵江会役員】
- 会長 上川 明 (高校26回)
 - 副会長 尾上 禮子 (高校38回)
 - 松村美智子 (高校16回)
 - 諫山 直喜 (高校25回)
 - 窪田 雅一 (高校26回)
 - 日高 和義 (高校26回)
 - 石部嘉一郎 (高校27回)
 - 吉本 泰輔 (高校28回)
 - 白石 博 (高校30回)
 - 矢野 良一 (高校42回)
 - 魚住 貴之 (高校43回)
 - 田中 亜紀 (高校44回)
 - 増田 和彦 (高校34回)
 - 梅田 茂 (高校20回)
- 開校陵江会 宮島 里美 (陵江会館)
- 電話 0949-22-2655

年生191名が入学し、
全校15クラス543名
の生徒が日々の勉強と
部活動に精一杯頑張っ
ております。今年3月
に卒業した第72回生の
進路状況は、短期大学・
四年制大学が4割、看
護・医療系を含む専門
学校が5割、就職が1
割となっております。そ
のうち進学では北九州
市立大学に4名、早稲
田大学、明治大学、青
山学院大学、同志社大
学、関西学院大学等に
合格しました。この進
学実績は、在校生にと
りまして大きな励み
となっております。
部活動の方では、陸
上部（個人）が400
mハードルで、水泳部
（個人）が50m自由形、
100mバタフライで、
それぞれ九州大会の出
場を果たしました。ま
た、全国高等学校体育
学科・コーススポーツ
大会においては、男女
ともにバレーボール部
が準優勝を飾りました。
文化部では、写真部（個
人）の作品が今年8月
に高知県で行われる全
国大会に出品されるこ
とになっております。
その他、部活動に入
部していない生徒たち
も様々なコンクールや
コンテストに積極的に
参加し、素晴らしい成
果を収めてくれていま
す。外務省等が主催す
る「国際理解・国際協
力のための高校生の主
張コンクール」に参加
した生徒は、福岡県代
表に選ばれて全国大会
に出場し優秀賞を受賞
しました。
さらに、運動部活動
に所属し勉強との両立
が容易ではない環境に
ある生徒が、合格率
15%と言われる難易度
の高い実用英語技能検
定準一級に見事に合格
しております。
施設・設備や活動時
間が十分とは言えない
中で、生徒と職員が一
緒になって心身に汗を
流している姿は、まさ
しく文武両道の校風か
らなるものであり、今
後もこれを継承し、学
校活性化に向けて一層
尽力したいと考えてお
ります。
おわりに、陵江会の
発展と会員の皆様のま
ますのご健勝を心か
ら祈念しますとともに、
本校の教育活動に対
しまして変わらぬご支
援とご協力を賜ります
ようお願い申し上げます。
ご挨拶いたします。

いよいよ陵江会福岡支部が 立ち上がりました!!

陵江会福岡支部会長 丸石 享



42回生井上弘士さんによる講演会はとても興味深く、
充実した内容で皆熱心に聞き入っていました

開催テーマは「母校直方高校愛」
この第1回設立総会を開催するにあたって、私はある先輩に是非、記念講演の講師をお願いしたいところ、すぐさま快諾してくださりました。講師は、現九州大学教授でもある高校42回生の井上弘士先輩です。「AI時代を生きる、誰もがチャンスをつかめる時代へ」をテーマに聴講いただきました。非常に素晴らしい記念講演で、参加者は熱心に聞き入っていました。

令和元年9月28日(土)第1回設立総会を岡支部設立総会をオリエンタルホテル福岡博多ステーションで行いました。



第一部 講演会

この第1回設立総会を開催するにあたって、私はある先輩に是非、記念講演の講師をお願いしたいところ、すぐさま快諾してくださりました。講師は、現九州大学教授でもある高校42回生の井上弘士先輩です。「AI時代を生きる、誰もがチャンスをつかめる時代へ」をテーマに聴講いただきました。非常に素晴らしい記念講演で、参加者は熱心に聞き入っていました。



今年の実行委員長は、元応援団長の福田誠さん
熱い応援頂きました!



山内則季顧問の乾杯の挨拶により
宴がスタートしました!

第二部 懇親会

山内福岡支部顧問の乾杯を合図にはじまり、母校「直方高校」の思い出や近況を語り合い、博多の街に会話の花が咲き、大盛況となりました。

は、母校直方高校の発展に繋がると信じ、福岡支部総会を今後も続けていく事の大切さをあらためて感じた時間でした。
今後、数多くの参加をお待ちしております。何卒宜しくお願い致します。



記念講演 テーマ『AI時代を生きる! ~誰もがチャンスを掴める時代へ~』

～プロフィール～

1987年 直方市立第三中学校卒業。
1990年 福岡県立直方高等学校卒業。
高校在学時は男子バレーボール部所属。
1996年 九州工業大学博士課程(前期)修了。
2001年 同過程(後期)を修了。博士(工学)。

1999年 米国 Halo LSI Design & Device Technology に勤務。
2001年～ 福岡大学工学部電子情報工学科助手。
2004年～ 九州大学大学院システム情報科学研究所助教授。
2015年～ 同大学教授、現在に至る。
2008年 科学技術分野の文部科学大臣表彰若手科学者受賞。

講師：井上弘士(高校42回生)

【陵江会福岡支部 役員一覧】

会長	高校43回	丸石 享
副会長	高校44回	杉谷 輝
副会長	高校46回	田代圭吾
事務局長	高校47回	徳永 学
会計	高校43回	吉松匡代
会計監査	高校43回	長尾貴幸
顧問	高校11回	山内則季
顧問	高校27回	吉永雅弘
顧問	高校33回	大賀俊信

今後、陵江会活性化の為に前進してまいります
どうぞ応援のほど宜しくお願い致します

陵江会福岡支部会長 丸石 享